

第2学年1組 国語科学習指導案

指導者 木下 大輔

1. 日時 平成26年6月18日(水) 第5校時
2. 単元名 「ともだちブック」をつくって本の中のともだちをしょうかいしよう
3. 単元目標

登場人物の行動を中心に想像を広げながらレオ＝レオニ作品を読み、好きな登場人物を「しょうかいミニブック」に書いて紹介する。

指導事項：C 読むこと

- (1) ウ お気に入りの場面について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。
カ 楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと

4. 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元を貫く言語活動として、「本の中の友だちの好きなところを見つけよう」ということを位置づけた。レオ＝レオニ作品から好きな登場人物の書かれた本を選び、その中で出会った友だちの好きなところについて紹介する。その本の中の友だちはどんなことをしたから好きなのか、文中の行動の中から自分でお気に入りの場面を見つけ、その場面の登場人物の行動から気持ちを想像して読む(C 読むことウ)。また、「ともだちブック」を作り、それをもとにグループで本の中の友だちに対する自分の思いや考えを紹介する。(C 読むことオ)

5. 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
・本の中の友だちの良さを共有しながら紹介しようとしている。	・本の中の好きな友だちの行動を中心に想像を広げながら読み「ともだちブック」に書いて紹介している。(ウ) ・レオ＝レオニの作品の中で、本の中の紹介したい友だちを選んで読んでいる。(カ)	・主語と述語との関係に注意して「ともだちブック」を書いている。 イー(カ)

6. 単元について

(1) 児童の実態

2年生で「たんぽぽのちえ」で時間や事柄の順序に注意して読みの授業を行っている。時間を表す言葉などキーワードを見つけ、たんぽぽのちえを時間を追って読み進めた。また、たんぽぽのちえの理由が書かれている文を、「～からです。」「～のです。」などの文末表現に気をつけて読んでき

た。「たんぽぽのちえ」の学習を通して、時間の順序に気をつけて読むことができるようになってきた。本を手取ることは多いと感じる。しかし、じっくりと読み深め、内容を正しく捉え、想像を広げて読む力が弱いと感じる。そこで今回の授業では、登場人物の行動に着目して読み、そこから物語を自分なりに想像して読むことで、本の世界を味わう楽しみを感じさせたい。

(2) 教材及び単元構成について

①教材について

「スイミー」は、挿絵を活用することで行動が読みやすく、児童が場面を捉えやすい教材である。レオ＝レオニ作品は登場人物のキャラクターが個性的であることと、登場人物の行動が捉えやすく、挿絵も場面の様子がとらえやすいので、本単元の好きな登場人物を見つけ、その登場人物のどんなことをしたところが好きなのか、また、その時の気持ちを想像することに適していると考えた。

②単元構成について

第一次では、教師が「ともだちブック」を作り、見本を見せることで、児童はお気に入りの場面を見つけて本の中の友だちを紹介する学習の見通しをもち、期待を膨らませるようにする。第二次では教科書教材の「スイミー」と自分の見つけたお気に入りの本を交互に学習する。教科書教材の「スイミー」で「ともだちブック」の書き方を学習し、それをお気に入りの本に生かして書かせる。第三次では、できた「ともだちブック」を使って、友だちに本の中の友だち行動から想像したことなどを紹介させる。

導入 ①	展開 ②	④	⑥	発展 ⑧
<ul style="list-style-type: none"> ・課題を設定する。 ・学習の見通しを持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書教材で「ともだちブック」のポイントをつかむ。 			<ul style="list-style-type: none"> ・教科書教材で紹介をする。
	③	⑤	⑦	⑨
並行読書	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が選んだ本で「ともだちブック」をつくる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・選んだ本で紹介をする。

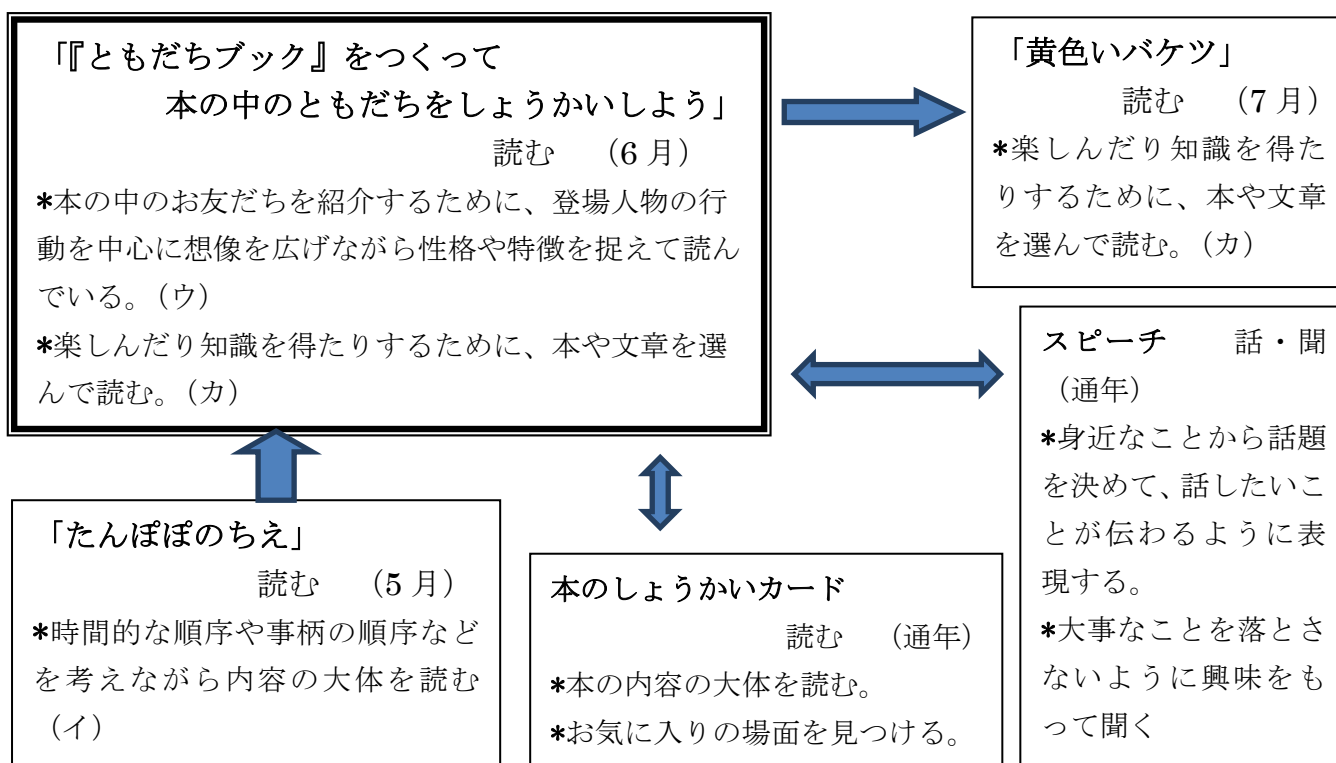
(3) 指導について

図書館からレオ＝レオニ作品を借りて、いつでも手に取れるよう環境の整備を行った。本単元に入る前から児童にはレオ＝レオニ作品を紹介し、朝読書や自学習の時に、レオ＝レオニ作品をたくさん読ませている。グループでの交流の経験が浅いため、第三次の交流の学習を見越して教科書教材の「スイミー」の学習を進める時も、同じお気に入りの本を選んだグループで活動するようにした。同じ本のグループで交流することで、より想像を広げ、よりたくさんの好きなどところを見つけられると考えた。「ともだちブック」では、本の中の友だちの好きなどところとその理由を書かせることで登場人物の行動に着目させることができる。そして、その場面の登場人物の気持ちを考えることで、想像を広げることができる。

届けよう 受け止めよう ことばと心
～一人ひとりが生き生きと表現する言語活動を通して～
(低学年テーマ) 身近な人や物事に興味をもち、表現を楽しむ子

本の中の友だちを見つけ、紹介し合う。そのために、レオ＝レオニ作品をたくさん読み、行動から好きな登場人物を探し出す。そして、その登場人物のどんなことをしたところが好きなのか、その時の登場人物の気持ちはどうなのかを紹介カードに書く。それを交流し、本の中の友だちに言ってあげたいことを考える。本単元では、本という身近なものの中に友だちを見つけることで、本に興味をもつことができる。また、好きな登場人物の気持ちを想像し、自分の考えを紹介カードを使うことで、楽しく表現したり、交流したりすることができる。

(4) 単元および他教科、日常活動との関連



7. 指導計画 (全9時間扱い)

次	時	評価規準と 評価方法☆	主な学習活動	指導上の留意点
一	1			
			「ともだちブック」を作って本の中の友だちを紹介しよう	
		<p>【読】レオ＝レオニの作品の中で、本の中の紹介したい友だちを選んで読んでいます。(カ)</p> <p>☆発言の観察 行動の観察</p>	<p>○教師の「ともだちブック」の人物紹介を聞く。</p> <p>○「ともだちブック」を書き、本の中の友だちの紹介をすることを知らせる。</p> <p>○レオ＝レオニ作品を読む。 ・紹介したい登場人物を見つける。</p>	<p>・「ともだちブック」で紹介し、学習の見通しをもたせる。</p> <p>・朝読書で読み聞かせをした「びっくりたまご」の人物について書いた。</p> <p>・並行読書のための環境整備をする。(図書館よりレオ＝レオニ作品10種を各5冊ずつ用意)</p>
二	2			
			本の中の友だちの好きなところを見つけよう。	
		<p>【読】「スイミー」を読み、スイミーの行動を中心に想像を広げながら読んでいます。(ウ)</p> <p>☆発言の観察</p>	<p>○「スイミー」を読み、挿絵を使って内容の大体をつかむ。 ・場面の変化を捉える。</p> <p>○スイミーの好きなところを交流する。 ・スイミーの行動を捉える。</p>	<p>・スイミーの全文を掲示する。</p> <p>・時間的な順序や事柄の順序などを挿絵を使って考えながら大体をつかませる。</p> <p>・スイミーの行動に着目させる。</p> <p>・自分と比べてスイミーはどうか考えさせる。</p>
	3	<p>【読】レオ＝レオニの作品を読み、本の中の好きな友だちの行動を中心に想像を広げながら読んでいます。(ウ)</p> <p>☆発言の観察</p>	<p>○レオ＝レオニ作品を読み、好きな本を見つける。</p> <p>○選んだ本の好きな登場人物について交流する。 ・付箋に場面の様子を書き、人物の行動を捉える。</p>	<p>・登場人物の行動に着目してつけるようにさせる。</p> <p>・同じ本のグループで交流させる。</p> <p>・絵本のページをめくりながら登場人物のし</p>

			たことを相談しながら付箋に書いて貼る。	
4	<p>本の中の友だちのこんなところが好きを「ともだちブック」に書こう。</p>	<p>【読】スイミーの好きな場面を見つけるためにスイミーの行動に着目しながら読んでいく。(カ) ☆行動観察</p> <p>【言】主語と述語との関係に注意して「ともだちブック」を書いている。イー (カ) ☆ワークシートの分析</p>	<p>○「スイミー」を読み、好きな場面に付箋を貼る。 ・教科書に付箋を貼っていく。</p> <p>○一番お気に入りの場面を選んで全体で交流する。 ・その場面が好きな理由を付箋に書き、全文の書かれた模造紙に貼る。</p> <p>○一番お気に入りの場面を「ともだちブック」に書く。 ・「すきなところ」と「すきなわけ」を書く。</p>	<p>・スイミーの行動に着目させる。</p> <p>・友だちとの違いに気づき、自分の考えをはっきりさせる。</p> <p>・なぜ好きなのか自分の思いや考えをもつようにさせる。</p>
5	<p>【読】紹介したい本の中の友だちの好きな場面を見つけるために人物の行動に着目しながら読んでいく。(カ) ☆行動観察</p> <p>【言】主語と述語との関係に注意して「ともだちブック」を書いている。イー (カ) ☆ワークシートの分析</p>	<p>○お気に入りの本を読み、好きな場面に付箋を貼る。 ・本に貼っていく。</p> <p>○一番お気に入りの場面を選んで「ともだちブック」に書く。 ・「すきなところ」と「すきなわけ」を書く。</p>	<p>・一人一冊手元に行くよう本を用意する。</p> <p>・なぜ好きなのか自分の思いや考えをもつようにさせる。</p>	
6	<p>本の中の友だちの気持ちを想像して「ともだちブック」を書こう。</p>	<p>【読】スイミーの行動を中心に想像を広げながら読み「ともだちブック」に書いている。(ウ) ☆ワークシートの分析</p>	<p>○「スイミー」を読み、お気に入りの場面のスイミーの気持ちを「ともだちブック」に書く。 ・お気に入りの場面を絵にかく。 ・その時のスイミーの気持ちを吹き出しに書く。</p>	<p>・お気に入りの場面のスイミーの行動から想像を広げて書けるようにさせる。</p> <p>・絵のかけない児童のために、絵のコピーを用意する。</p>

	<p>7</p> <p>【読】本の中の好きな友だちの行動を中心に想像を広げながら読み「ともだちブック」に書いている。(ウ) ☆ワークシートの分析</p>	<p>○お気に入りの本を読み、お気に入りの場面の登場人物の気持ちを「ともだちブック」に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お気に入りの場面を絵にかく。 ・その時の登場人物の気持ちを吹き出しに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お気に入りの場面の登場人物の行動から想像を広げて書けるようにさせる。 ・絵のかけない児童のために、絵のコピーを用意する。
<p>三</p>	<p>8</p> <div data-bbox="323 546 1358 613" style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px;"> <p>「ともだちブック」をつかって本の中の友だちを紹介しよう</p> </div> <p>【関】本の中の友だちの良さを共有しながら紹介しようとしている。 ☆発言の観察</p>	<p>○「ともだちブック」を使ってスイミーの好きなところを紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お気に入りの場面のスイミーの気持ちについて交流する。 <p>○お気に入りの場面のスイミーに言ってあげたいことを「ともだちブック」に書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相手がどこに着目したのか注意して聞くようにさせる。 ・相手の紹介を聞いて同じと感じたところ、違うと感じたところを気づかせる。 ・友だちの発表を聞いて、スイミーに自分の言葉を送るようにさせる。
	<p>9</p> <p>【関】本の中の友だちの良さを共有しながら紹介しようとしている。 ☆発言の観察</p>	<p>○「ともだちブック」を使って本の中の友だちの好きなところを紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お気に入りの場面の登場人物の気持ちについて交流する。 <p>○本の中の友だちに言ってあげたいことを「ともだちブック」に書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相手がどこに着目したのか注意して聞くようにさせる。 ・相手の紹介を聞いて同じと感じたところに気づかせる。 ・友だちの発表を聞いて、登場人物に自分の言葉を送るようにさせる。

8. 本時 (9/9)

目標 「ともだちブック」で紹介し合って、本の中の友だちの良さを共有する。

評価規準と評価方法☆	学習活動	指導上の留意点
	1. 今日の学習のめあてを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・前時「スイミー」でやった本の中の友だち紹介を想起させ、今度は自分の好きな登場人物について紹介し、本の中の友だちの良さを見つけられるよう伝える。
「ともだちブック」を使って 本の中の友だちを紹介しよう。		
<p>【関】本の中の友だちの良さを共有しながら紹介しようとしている。</p> <p>☆発言の観察 ワークシートの分析</p>	2. 「ともだちブック」を使って本の中の友だちを紹介する。 <ul style="list-style-type: none"> ・司会を中心に交流する。 ・その場面の登場人物の気持ちは私ならこう思う！ 3. もう一度お気に入りの本を読み、グループの紹介を聞いて自分も好きになったことを「ともだちブック」に書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ本を選んだグループで紹介する。 ・本の中の友だちの好きなどころをしっかりと言えるようにさせる。 ・相手の紹介を聞いて同じと感じたところ、違うと感じたところを交流させる。 ・場面を取り上げて、好きなわけやその時の気持ちについて交流させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・交流を通して登場人物への思いをふくらませ、登場人物の良さを見つけさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・交流を通してさらに本の中の友だちを好きになったことに気づかせる。
	4. 学習のふりかえり <ul style="list-style-type: none"> ・友だちの紹介を聞いてここも好きになったよ。 	

--	--	--